

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠	
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任			組織学習
I 快適な生活環境の実現	I-1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	I-1-① 計画的な下水道(汚水)整備の推進	下水道建設課	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域及び土地区画整理事業地区等に汚水管を13.8km整備します。 ②土地区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的な工事を執行します。 ③工事施工にあたり、他事業者と工事時期や施工方法等の調整を図り、市民への配慮、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。	①2,252,336 ②2,238,150	1,946,863	87%	①下水道(汚水)の整備が進んでいない地域の汚水管整備を、土地区画整理事業の進捗等により、11.3km実施した。 ②工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を執行した。	適切な執行が行えるよう、土地区画整理事業施行者等と協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努める。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・下水道処理人口普及率(87.6%/87.6%) ・汚水管整備(11.3km/13.8km)
		I-1-② 整備困難地域における下水道(汚水)整備の検討	下水道建設課	①新工法説明会等に参加し研究を進めるとともに、部内での情報共有を行います。 ②道路工事調整会議への出席やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障を来さないよう部内での情報共有を行います。	①0 ②0	0	-	①下水道に関する幅広い分野の最新技術・機器等を展示している下水道展や、新工法説明会等に参加した。 ②道路工事調整会議やガス事業者等の他埋設企業からの事前協議書の確認を行い、下水道管工事に支障をきたさないよう、部内での情報共有を行った。	道路幅員が狭い場合や地下埋設物の影響などにより、下水道管を埋設する工事が難しい場所について、引き続き効率的な整備方法を検討するとともに、新工法の採用について研究する。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・下水道処理人口普及率(87.6%/87.6%)
II 安全・安心な暮らしの実現	II-1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	II-1-① 計画的な下水道(雨水)整備の推進	下水道建設課	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備します。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に着手するための、支障物切り廻し工事等を実施します。	①312,800 ②322,316	309,823	96%	①浸水被害が発生している地域に、雨水管きよを0.4km整備した。 ②東川口駅周辺浸水対策工事に係るシールド工事に支障となる支障物切廻し工事を実施した。また、資材価格調査等により発注を行い、10月に工事契約し、工事を開始した。	今後、浸水対策を実施していく地域について、最も効果的かつ効率的な整備方法、整備地域を検討していく。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・整備排水区数(3排水区/3排水区) ・雨水管きよ整備(0.4km/0.4km)

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠
											総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任		
II 安全・安心な暮らしの実現	II-1 浸水に対する安全・安心なまちづくりを推進します	II-1-② 公共施設における雨水流出抑制の推進	下水道維持課	①公共施設に広く雨水流出抑制施設を整備することにより、浸水被害の発生しにくい都市づくりを長期的かつ継続的に取り組みます。 ②公共施設に設置された雨水流出抑制施設の効用を十分に発揮させるために、公共施設管理者に対して、維持管理の周知・徹底を図ります。	①0 ②0	0	-	①公共施設管理者に対して、3件の事前協議を行い、設置場所の状況等を総合的に勘案した雨水流出抑制施設の提案を実施した。 ②公共施設管理者に対して、3件の完了検査を行い、雨水流出抑制施設の維持管理の周知・徹底を実施した。	公共施設の建て替えなどの際に、雨水流出抑制施設設置を公共施設管理者に対して要請しているものの、その必要性が浸透していないことから、今後も広く関係各課に対して周知していきたい。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・雨水流出抑制施設設置(3件)
		II-1-③ 浸水対策に対する情報提供による自助の促進	上下水道総務課	浸水対策に対する市民一人ひとりの防災意識を高めるため、局のホームページなどを活用した情報提供を行います。	①0 ②0	0	-	台風19号への対応として、市内の浸水状況を把握するとともに、局内外を問わず情報の共有に努めた。また、休日夜間であったが職員が電話交換室において市民等からの問い合わせに対応し、適宜必要な情報の提供等を行うことができた。 運営審議会において報告された東川口駅周辺浸水対策事業について、資料を市ホームページにおいて公開した。 市内の浸水状況について、埼玉県と情報共有を行った。	引き続き情報収集の手段やホームページ等の情報発信の方法を精査する。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・上下水道広報誌、上下水道局ホームページによる情報提供
	II-2 地震に対する防災・減災を推進します	II-2-① 管路施設における耐震化の推進	下水道維持課	①総合地震計画に基づき緊急輸送道路である県道川口上尾線、国道122号線において横断污水管渠525mの更生工事を実施します。 ②国道298号線において、液状化によるマンホール浮上の恐れがあると判定された14箇所のマンホール浮上防止工事を実施します。	①289,621 ②264,732	254,232	96%	①県道川口上尾線、国道122号線において横断污水管渠523mの更生工事を実施した。 ②国道298号線において、14箇所のマンホール浮上防止工事を実施した。	次年度以降においては、総合地震計画の第2期がスタートするが、耐震診断や実施設計を含め、予定している計画目標を確実に施工できるよう適切に準備を行っていく。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・污水管渠更生工事(523m/525m) ・マンホール浮上防止工事(14箇所/14箇所)

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠	
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任			組織学習
II 安全・安心な暮らしの実現	II-2 地震に対する防災・減災を推進します	II-2-② ポンプ場における耐震化の推進	ポンプ場管理センター	被災による影響度が大きい施設、常駐管理で人命に関わる施設を考慮し、寿町ポンプ場の耐震診断、青木中継ポンプ場の耐震補強設計、元郷排水ポンプ場の耐震補強工事を実施します。	①102,795 ②102,795	99,737	97%	寿町ポンプ場の耐震診断、青木中継ポンプ場の耐震補強設計を実施し、元郷排水ポンプ場の耐震補強工事が完了した。	次年度以降においては、総合地震計画の第2期がスタートするが、耐震診断や補強設計を含め、予定している計画目標を確実に施工できるよう適切に準備を行っていく。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・耐震診断(1件/1件) ・耐震補強設計(1件/1件) ・耐震補強工事(1件/1件)
		II-2-③ 災害用マンホールトイレの整備推進	下水道建設課	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、指定避難所等にマンホールトイレを4箇所設置します。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認します。	①72,709 ②77,379	76,334	99%	①災害発生時においてもトイレが利用できるよう、マンホールトイレを4箇所整備した。(根岸小学校、東領家小学校、戸塚東小学校、慈林小学校) ②工事施工にあたり学校運営に支障がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等が発生せず工事を実施した。	予定している学校(9箇所)にマンホールトイレを確実に整備するため、学校責任者との事前調整等を実施していく。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・マンホールトイレが整備された避難所率(34%/34%) ・マンホールトイレの設置(4箇所/4箇所)
		II-2-④ 危機管理体制の向上	上下水道総務課	川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)の見直しを行います。また、下水道BCPに基づく訓練を実施します。	①0 ②0	0	-	上下水道局において、川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)に基づき、管理部及び事業部による災害対策訓練として、参集訓練、安否確認訓練、避難誘導訓練、情報伝達訓練、実地訓練を実施した。	川口市下水道事業業務継続計画(下水道BCP)の見直しを確実に実行し、埼玉県へ報告する。下水道BCPに基づく災害対策訓練の準備を早めに進め、効果的な訓練になるよう訓練内容の検討を行う。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・参集訓練(実施/実施) ・安否確認訓練(実施/実施) ・避難誘導訓練(実施/実施) ・情報伝達訓練(実施/実施) ・実地訓練(実施/実施)

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠	
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任			組織学習
Ⅲ 下水道施設の適切な管理	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-② 改築情報などのデータベース化の検討	下水道維持課	竣工図、排水設備確認申請書、管内調査の各種情報を基に公共下水道台帳システムのデータ更新を行います。	①17,477 ②17,477	16,706	96%	平成30年度施工の工事に係る各種情報のデータ更新を完了した。	委託業務については予定通りの成果を上げることができたが、今後は台帳の精度を更に高めるため、窓口や現場立ち合い等の情報もデータに反映できるように整理を行っていく。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・下水道台帳システム 情報更新
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-② 改築情報などのデータベース化の検討(再掲)	ポンプ場管理センター	ポンプ場施設の工事修繕履歴や紙図面を整理し、データベース化に向けた準備を実施します。	①0 ②0	0	-	ポンプ場施設の工事修繕履歴の電子データや紙図面を扱いやすいように整理した。	ポンプ場施設の工事修繕履歴や紙図面の整理を引き続き行い、紙ベースの情報を電子データ化するための準備を進める。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた
Ⅳ 下水道事業の経営の健全化	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-① 経営安定化の推進	上下水道総務課	①事業評価およびローリングを実施し、各施策の進捗管理を行います。 ②財政収支計画を検証するとともに経営戦略を適宜見直します。	①0 ②0	0	-	①令和元年度における各事業の終了時・事後評価を実施し、PDCAサイクルに基づき、翌年度以降の事業実施手法の改善策等について検討を行った。 ②企業会計方式による財政収支の検証を行った。	①事業評価について、適宜、評価手法等の見直しを図っていく。 ②企業会計方式による財政収支を検証することにより、適宜経営戦略を見直す。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠
											総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任		
IV 下水道事業の経営の健全化	IV-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	IV-1-② 適正な下水道使用料の検討	上下水道総務課	①企業会計移行後の経費回収率を把握します。 ②経費回収率を比較、分析し適正な下水道使用料を検討します。	①0 ②0	0	-	①企業会計移行後の経費回収率を把握した。 ②経費回収率を比較、分析し、適正な下水道使用料の検討を行った。	引き続き、適正な下水道使用料の検討を行う。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた
	IV-2 広報活動の充実や市民ニーズの把握に努めます	IV-2-① 広報活動の充実	上下水道総務課	①アクアプラン4-1-4「水道事業PRとお客様の声の反映」と連携し、各種イベントに参加します。 ②ホームページや広報誌に工夫を凝らし、市民の事業に対する理解促進を図ります。	①38 ②82	82	100%	①年2回広報誌を発行し、下水道事業の財政状況や取り組みについて掲載するなど、積極的な情報発信に努めた。 ②市内各所で開催されたイベントに参加し、下水道事業に関するパネルの展示やマンホールカードの配布など下水道事業のPRを行った。	①引き続き積極的な情報発信に努め、掲載内容等を検討する。 ②アクアプラン4-1-4「水道事業PRとお客様の声の反映」と連携し、効果的なPR方法を検討する。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・上下水道広報誌の発行 2回(9月号・2月号)
		IV-2-② 市民ニーズの把握	上下水道総務課	①イベントやホームページを活用し、アンケートを実施します。 ②アンケートの意見を各事業に反映できるように、内容、集計方法を検討します。	①0 ①0	0	-	①市内各所で出展したイベントやホームページにおいてアンケートを実施し、下水道の役割やマンホールトイレの認知度を把握することができた。 ②イベントで実施したアンケート結果を踏まえ、下水道事業に関する記事を上下水道広報誌に掲載した。	①引き続きイベントやホームページ上でのアンケートを実施し、市民ニーズの把握に努める。 ②アンケートの内容等を見直し、より効果的に情報を収集できるよう努める。	B	B	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた

令和元年度 終了時評価										令和元年度 事後評価							
実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠	
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任			組織学習
I 快適な生活環境の実現 IV 下水道	I-1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	I-1-③ 下水道接続率の向上	下水道維持課	①職員による戸別訪問を実施し、下水道接続率の向上を図ります。 ②私道共同排水設備整備の補助などを実施し、下水道接続率の向上を図ります。	①112,699 ②112,699	74,522	66%	①職員による戸別訪問を新郷地区の一部(660件)において実施した。 ②私道共同排水設備整備補助金は15件、水洗便所改造資金融資利子等助成金1件、水洗便所改造資金補助金は576件の申請等があった。 上記の結果、下水道接続率は前年度比0.01%増の94.73%となった。	平成30年度から2年間の社会実験として実施した水洗便所改造資金補助金の経過措置対象者からの補助金申請を受けるとともに、2年間の申請状況を検証し令和3年度からの補助制度について検討を行う。	B	B	B	B	B	B	縮小して継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・戸別訪問(660件) ・私道共同排水設備整備補助金申請(15件) ・水洗便所改造資金融資利子等助成金申請(1件) ・水洗便所改造資金補助金申請(576件)

実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	令和元年度 終了時評価				令和元年度 事後評価								
					①当初予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠	
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任			組織学習
III 下水道施設の適切な管理 IV 下水道事業の経営の健全化	III-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	III-1-① 計画的な維持管理および改築の推進	下水道維持課	①ストックマネジメント実施計画書を策定します。 ②污水管長寿命化計画に基づき、南平地区において老朽管渠870mの更生工事を実施します。 ③青木、横曽根地区において老朽管渠1,310mの布設替え工事を実施します。 ④市内全域において老朽化が著しい区域の管内調査17,800m、管内清掃19,200mを実施します。 ⑤市内全域において污水取付管や人孔蓋等の破損による小規模改修工事を実施します。	①866,466 ②857,299	821,139	96%	①ストックマネジメント実施計画書を作成した。 ②老朽管渠726mの管更生工事を完了した。 ③老朽管渠1,308mの布設替工事が完了した。 ④管内調査13,715m、管内清掃20,574mを行った。 ⑤破損等による小規模改修工事を適切に実施することができた。	管渠工事については1工事当たりの工事区域をもっと大きくとれるよう工事範囲をより柔軟に考えていく。 管内調査については特定の範囲に拘らず、調査施工効率を優先し柔軟に範囲設定を行っていく。	B	C	B	B	B	B	現状維持で継続	■目標達成度 予定通りの成果を上げた
	・老朽管渠更生工事 (726m/870m)	・老朽管渠布設替工事 (1,308m/1,310m)															・管内調査 (13,715m/17,800m)
	IV-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	IV-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	下水道維持課														

総合評価
 A=予定以上の成果を上げた
 B=予定通りの成果を上げた
 C=成果は出ているが予定に達していない
 D=結果は出ているが成果は出ていない
 E=不十分な結果にとどまる、または結果が出ていない
 (実績値/目標値)

		令和元年度 終了時評価						令和元年度 事後評価								
実施方針	施策目標	施策	主管課	単年度(目標)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	次年度解決策	5段階評価結果					次年度方針	評価の根拠
										総合評価	達成度	効率性	有効性	説明責任		
Ⅲ 下水道施設の適切な管理 Ⅳ 下水道事業の経営の健全化	Ⅲ-1 管路施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-1-③ 人材の確保と民間活用手法の研究	上下水道総務課	①職員に対する研修の実施や資格取得の促進をします。 ②下水道施設の維持管理に関する民間活用についての情報収集を行います。	①2,402 ②2,402	1,457	61%	①職員に対し、研修の受講や資格取得を促した。有料の研修について、全20講座22名の職員が受講した。 ②下水道施設の維持管理等の包括的民間委託について、具体的な事例の情報収集を行った。	①積極的に局内各課へ情報提供を行い、研修の受講や資格取得を促す。 ②引き続き、民間活用について研究する。	B	B	B	B	B	B	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・外部研修受講 (20講座22名)
	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-③ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	上下水道総務課													
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-⑤ 人材の確保と民間活用手法の研究(再掲)	上下水道総務課													
Ⅲ 下水道施設の適切な管理 Ⅳ 下水道事業の経営の健全化	Ⅲ-2 ポンプ場施設の適切な管理により事故の未然防止に努めます	Ⅲ-2-① 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター	①ストックマネジメント実施計画書を策定します。 ②竖前橋ポンプ場系監視装置の更新を5箇所実施します。 ③元郷排水ポンプ場系監視装置の更新を11箇所実施します。 ④青木中継ポンプ場2号汚水ポンプの更新を実施します。 ⑤竖前橋ポンプ場3号除塵機の更新を実施します。 ⑥二軒在家排水ポンプ場の受変電設備の更新を実施します。	①383,071 ②805,926	416,797	52%	①ストックマネジメント実施計画書を作成した。 ②竖前橋ポンプ場系監視装置更新の工事を完了した。 ③元郷排水ポンプ場系監視装置更新の工事を完了した。 ④青木中継ポンプ場2号汚水ポンプ更新の工事を完了した。 ⑤竖前橋ポンプ場3号除塵機更新の工事を完了した。 ⑥二軒在家排水ポンプ場受変電設備更新の工事を完了した。	ポンプ場施設の経年劣化に対し、機器の状態を的確に把握することで適切な維持管理及び計画的な改築を図り、ポンプ場の運転に支障がないよう更新計画を適宜見直していく。	B	B	B	B	B	B	■目標達成度 予定通りの成果を上げた ・監視装置更新工事 (16件/16件) ・汚水ポンプ更新工事 (1件/1件) ・除塵機更新工事 (1件/1件) ・受変電設備更新工事 (1件/1件) ・消防設備更新工事 (1件/1件) ・水位計更新工事 (1件/1件) ・破碎機更新工事 (1件/1件)
	Ⅳ-1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます	Ⅳ-1-④ 計画的な維持管理および改築の推進(再掲)	ポンプ場管理センター													